

令和6年度第3回つくば地域医療構想調整会議 議事録

1 日 時：令和7年2月12日（水）15：00～16：45

2 場 所：つくば保健所 大会議室

3 出席者：別添「出席者名簿」のとおり

4 議 事

（1）定足数の確認

事務局司会は、つくば地域医療構想調整会議委員総数23名に対し、出席委員21名（うち代理出席3名）であることを確認し、地域医療構想調整会議設置要綱（以下「要綱」という。）第7条第2項に規定する定足数（過半数）に達していることを報告した。

（2）会議の公開

事務局司会は、本会議を公開とすることについて意見を求めたところ、異議なく承認された。

（3）会議録署名人の署名

議長は、要綱第10条第1項の規定に基づく会議録署名人に、竹内委員及び鈴木委員を指名した。

（4）議事

■協議事項

①外来機能報告における紹介受診重点医療機関の選定について

- ・事務局より紹介受診重点医療機関についての制度概要について説明を行った。
また、令和6年度外来機能報告に基づき、筑波大学附属病院・筑波記念病院・筑波メディカルセンター病院を選定案として示した。
 - ・協議の結果、案のとおり選定し、県に報告することについて承認された。
- ▼質疑等無し

②地域医療構想の推進について

- ・事務局より、病床を有する医療機関からの報告等（令和6年10月末時点）に基づき作成した「医療機能の拠点化・集約化に向けた今後の方向性 様式Ⅲ（案）」「つくば構想区域の具体的対応方針 様式Ⅲ別紙（案）」について説明した。
- ・協議の結果、案のとおり作成し、県に報告することについて承認された。

【主な質疑】 ●委員発言 ○事務局発言

●現在の地域医療構想の具体的対応方針は、来年度までの1年間の内容で良いか。

○現在は、2025年度末までの具体的対応方針であり、それ以降については今後、国から示されることになる。

■報告事項

①有床診療所の病床削減について

・事務局より、有床診療所である大見クリニックの病床削減予定について報告を行った。

▼質疑等無し

②外来医療計画に基づく医療機器の共同利用計画の確認について

・事務局より共同利用の必要性及び共同利用計画の提出状況、県のホームページで公表が予定されることについて報告を行った。

▼質疑等無し

③つくば市におけるオンライン診療について

・事務局より、「つくば市休日夜間急患センター事業」の概要を説明した。

【主な質疑】 ●委員発言

●つくば市としては、市民の不安解消が必要だと考えている。その機能を評価していただき、多くの市民に利用していただき、患者、医療機関の負担軽減を目指して行かなければならないと考えている。

●まだ開始して、1月ほどなので、評価はこれからになるが、今後、報告をお願いしたい。

④救急医療について

・事務局より「つくば医療圏における救急搬送データ」「救急搬送における選定療養費の徴収について」「救急及び医療連携に係る普及啓発」等について報告を行った。

【主な質疑】 ●委員発言

●救急受入は、月平均でみると令和5年度に比べて、令和6年度が増加傾向にある。医師の働き方改革や救急医療に係る選定療養費の徴収があると思われる。

医療圏外からの流入が増えたかということ、そうではない。ただ、重症度の関係があるので、件数だけで単純に比較はできないと思う。

⑤年末年始における休日診療について

・事務局より、医療機関及び消防本部から報告いただいた、年末年始の診療課題等、救急搬送状況・課題等について報告した。

【主な質疑】 ●委員発言

- つくば市では、年末年始の当番制について、医療機関にお願いして協力している。現状を踏まえて、来年に向けて対応していきたいと考えている。
 - つくば医療圏には医師会が二つあるが、休日当番で非常に患者が多い時は、臨機応変に、柔軟に対応できる体制を作っていないと、救急病院が破綻してしまうと思うので、検討したい。
 - 当番救急病院のところの門前薬局には、薬剤師会に入ってもらって、救急体制を担ってもらいたい。
 - インフルエンザとかコロナなどでの受診、ワクチン接種などの啓蒙ができているのか。
 - 高齢化が進み、重症化する人も一定数いるなかで、誰がどこで受診するのかについて、難しいが、茨城県では電話相談を行っている。
 - 電話相談が増加しているというデータを共有する必要があるのではないか。
- ＃ 7 1 1 9 ＃ 8 0 0 0 のデータは、資料があるので共有する（当日資料配布）

⑥医師派遣調整に係る医師派遣要請（地対協の協議結果）について

- ・事務局より、つくば地域医療構想会議からの要請について、県地域対策協議会において協議された結果を報告した。

▼質疑無し

⑦地域医療提供体制データ分析事業について

- ・筑波大学ヘルスサービス開発研究センター 渡邊准教授より説明

【主な質疑】 ●委員発言

- 医療圏のみでなく、全国の都道府県のデータも持っていて、教えてもらえれば、病病連携、下り搬送システム構築の参考になると思う。

以上をもってすべての議事が終了したので、議長は閉会の宣言をした。

上記を確認するため、会議録を作成し、会議録署名人が署名する。

令和7年3月28日

つくば地域医療構想調整会議会長

成島 淳

会議録署名人

竹内和久

会議録署名人

鈴木利弘